

# 令和3年度 第8回 理事会議事録

日時：令和4年1月25日（火）18：45～19：40

場所：Web会議、県士会事務所

出席：(理事) 磯野、高村、三科、小林(司)、井村、名取、北山、菊池、古屋、鈴木、大西、平賀、有泉

(監事) 谷村、齋藤

(部長) 小林(泰)、秩父、秋山

(協会) 湯元、花田、四谷

書記：笹本

## 会員管理情報

慶事0件 弔事0件 施設数147

会員数928名（施設865名 自宅63名）

磯野会長より挨拶

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

今年もコロナの状況が見通せない中、事業運営をしていくことになる。皆様よろしくお願ひしたい。

また、今年改選の年であり、皆様の御協力を得ながら進めていきたい。

前回の理事会からの動きでは、1月8日に協会の理事会があり私と有泉局長、井村局長が、代議員枠で北山局長が傍聴した。1月13日に甲府市役所の担当者との面会。甲府市は来年度理学療法士の採用を検討中でその協力依頼があった。現在進めている介護予防と保健事業の一体化に理学療法士が明記されており、甲府市は糖尿病や介護予防等の事業に理学療法士が関わって欲しいと考えている。是非参加する理学療法士が出てきて欲しい。採用情報は士会HPに掲載をした。2月5日に神奈川県理学療法士会の50周年記念がありオンラインで行うことが決定した。R4年10月7,8,9日に山梨県で第81回日本公衆衛生学会総会がある。山梨大学の山縣先生が学会長、磯野会長は実行委員として参加する。協賛金等については、次回の理事会までに確認する。本日の理事会には協会の方々に参加しており、理事会後に意見交換会が開催される予定なので、よろしくお願ひしたい。

## I. 審議事項（全1題）

### 1. 士会支部設立と業務内容について：士会支部設立推進局

士会の支部化について、過去の理事会で意見を頂き部局内で話を進めてきた。支部化の設立までの流れや業務の内容、期間等を具体化したので、ご意見を頂きたい。令和4年度の総会後から支部活動の開始を検討しており、それまでに事業の具体化、組織図の修正、各部署との連携方法などの基準を作る必要があると考えている。

支部化は、山梨県を中西部、富士東部の2つに分け、それぞれの地域特性を鑑みた様々な事業を展開。中西部支部については、医師会・県のブロック区分を参考に5つのブロックに細分化する。「地域内での士会員ネットワークの構築」「地域情報の共有」「各地域からの依頼への対応」「他団体との連携強化」「災害時の会員支援・連携」「地域での研修・勉強会活性化」を目的に士会支部化をはかる。今回部員の確保に努め、部長、会計の役割を設定した。各支部で講習会を行うだけではなく、顔の見える横の関係を作ることが重要と考えている。地域の予防事業へのPT参加、各施設の横の連携をしやすくするため各支部リハマップ作製を検討している。リハマップの作成については、個人情報になるので、取り扱いについてご意見を頂きたい。

### 質問・意見

- ・リハマップについて、「PTOTSTバンクに登録済みのPT」または「地域協力が可能と回答したPT」をリスト化するのか、PT全体をリスト化するのか、現在の考えはどちらか。
- 理想は、後者で士会員外のPTも含めてリスト化したい。理由はどの施設にPTがいるのか不明で転院先を検討する際に困る地域がある。繋げる情報として、広く多く調べられるようにリスト化したいと考えている。
- ・各個人の情報の掲示となると個人情報で進みが遅くなると思われる。どの地区の、どの施設に、何人のPTがいるのか、その情報ならば個人情報として問題無い。山梨県はその情報が分からない現状であるので、まずは個人の情報は含めずにPTの居る施設、PTの人数をリスト化する所から始めてはどうか。そして、個人情報については、今後も継続して検討していけば良いと思う。
- 支部のブロック長の役割・権限について、もう少し明確にした方が良い。管理者ネットワークを兼ねて横の繋がりを強化、山梨の活動を包括的に繋ぐ役割としては、士会事業に協力してくれる施設、PTをピックアップする、または公募して育てていくのが良いと感じた。
- 今の段階では、個人の情報はそこまで重要ではなく、各施設のPT数や連絡先、窓口担当者名の情報があれば、問題ないと考えている。
- 支部長の役目は、とりまとめだけなのか、支部内で活動していくのかなど、業務について詳細に検討していく必要がある。適時提案して理事の方々のご意見を頂きながら方向性を決めたい。
- ・士会員については、士会名簿の情報を活用してPTの居る施設名、PTの人数の情報提供をすることは、士会活動で使用する情報として問題ないと考えている。

・支部化は山梨県士会で長年の懸案事項であった。動き出せるということはとても大きな一歩となる。総会で支部化について説明し、支部長、ブロック長を選任。その後メンバーで会議を開催していくこと良いと思われる。

リハマップについては、各施設名、PT 所属長名、PT 人数が分かれば良いのではないかと。組織的な位置づけと権限については、継続して審議していく必要がある。

・リハマップの中に専門理学療法士、認定理学療法士がどの施設にどの部門の方が何人いるのか、情報があると良い。

→局内で検討する。

・規約や規定等でルール化し明示した方がより計画が進みやすくなると思われる。他県のルールを参考にしながらルールの文書化も進めてほしい。

### 結論

・令和 4 年度の総会で支部化について提案をする。承認を得た場合、示されたタイムスケジュールに沿って進めていく。

・士会員の必要な情報は、事務管理局から平賀局長へ提供をする。

## II. 報告事項

### 1. 各委員会等の報告

#### ・特別支援教育委員会

委員会開催報告について、1月5日(水)にオンラインで開催した。これまでは主に団体協議会の委員会に関わってきたが、今回初めて士会単独の会議を開催した。今後特別支援教育への関りについて検討を重ねるが、小児PTに関わるPT同士の横の繋がりを強化も念頭に活動していくこととなった。次回は2月21日(月)に開催予定。3月に協会の学校保健と特別支援教育について会議あり、高村委員長と長田学校保健担当委員が出席予定。その会議結果を踏まえて、次年度以降の組織等の組み立てを検討していく必要があるかもしれない。

#### ・がんリハ対策推進委員会

山梨県リハビリテーション専門職団体協議会2021年度第4回山梨県がんリハビリテーション推進委員会の参加報告について、①1月29日(土)に午前中公開講座、午後専門職研修を開催する。②山梨県がんリハビリテーションWGを全3回開催し、がんリハのリーフレット案が完成した。遅くとも2月中～下旬までに印刷発注し、年度内に発送する予定。③2022年度事業計画について、講師の選定でがんリハに特化した医師や理学療法士を紹介していただくと有難い。

#### ・表彰委員会

小林前会長の表彰について、申請可能なのか確認

をして対応をする。

#### ・50周年実行委員会

記念誌については、三科副会長に届き次第、各理事に提示をしたい。

### 2. 令和3年度山梨県立介護実習普及センター運営委員会の参加について：社会局

12月22日(水)に第1回運営委員会があり参加した。県介護実習普及センターあり方検討会の会議の中で、令和4年度で県立介護実習普及センター廃止、研修会・講座などの事業は県社会福祉協議会へ委託する方向性でいるが、コロナ禍で会議が延期されてまだ最終的な方向性は示されていない。委員間でセンターが行っている普及啓発事業・機能は必要と共通認識しているが、指定管理者制度としてセンターが必要か議論をしている。

### 3. 新生涯学習制度の意見交換会、新制度説明会の開催について：生涯学習局

①1月17日(月)に協会主催の新生涯学習制度の意見交換会に参加した。新システムに関する資料があるので、情報共有をしたい。

②2月16日(水)に白石先生(日本理学療法士協会教育推進課常務理事)を講師に招いて山梨県士会としての新制度の2回目の説明会を行う予定。

③一人職場の新人教育等、横の繋がりがや窓口など士会支部と関係する部分が出てくると思う。平賀局長と連携をはかっていきたい。

## III. 事務管理局から

### ①今年の事業報告および来年度の予算(案)、事業(案)について

予算案の提出、又、事業案については来週中に入力用のひな形を送るので、作成のご協力をお願いしたい。

### ②今年度決算について

3月31日メダが、事業が終わり次第早めの提出をお願いしたい。

### ③旅費規程の改訂について

各局へ調査を依頼した。調査結果をもとに2月の理事会で改定案提出する予定。提出期限は今月末までとなるが調査の協力をお願いしたい。

### ④メール配信について

登録者数は701名(1月23日現在)。重複がありエラーメールは削除した。R3年度メール配信数59件。

日時 令和4年2月22日(火) 19:00～

場所 Web会議

連絡 2月18日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。